

平成 29 年度スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール 事業計画書

I 委託事業の内容

1. 研究開発課題名

DESTINATION デザイン！

アジア経済圏におけるファッション産業集積拠点「福岡」の成長を担う専門的職業人「Kブランド人材」の育成

～高度な資質・能力を育む産学接続型教育プログラムの開発を通して～

2. 研究の目的

ファッション界で新たな価値を生み出す基盤となる高度な資質・能力の育成を図るために、産業界、大学等と連携・協働することにより、産学接続型教育プログラムを開発し、グローバル社会に対応した教育課程の充実を図る。

それにより、アジア経済圏に位置する福岡を拠点として、福岡ブランドを国内外へ発信する地元ファッション産業の成長を担う専門的職業人（Kブランド人材）を育成する。

さらには、卒業後の次のステージ（進学・就職）へ確実に繋ぎ、最終的には高い知識・技術を身に付けた人材が福岡へ凱旋し、ファッションリーダーとして第一線で活躍することを目指す。また、ファッション界に挑戦していく人材輩出の好循環を生み出し、ファッション産業の一大拠点化を目指す福岡県の取組を、優れた人材の確保・育成の面から後押しする。

3. 実施期間

契約日から平成 30 年 3 月 15 日まで

4. 当該年度における実施計画

豊かな創造力や表現力、情報活用能力などの高度な資質・能力を身に付け、グローバルな視野を持って福岡から“クールジャパン”を発信する人材を輩出するため、福岡商工会議所等の協力機関と連携・協働を加速し、教科との関連を重視した学習プログラムの開発や体系的な 3 年間の指導計画（学びの地図）の構造化・具体化及び、ルーブリックやポートフォリオ等の手法を用いた多面的な評価方法に関する研究を行う。

(1) 学習プログラムの開発

ア【福岡発ファッションイベント企画・運営実習】

（目標）福岡商工会議所など地元産業界や大学等と連携・協働して、“ファッション産業発信の街福岡”の成長戦略として実施される「ファッションウィーク福岡」などのイベントに参画する企画・運営実習や、オリジナルファッションショーを実施し、産業としての

ファッションについて理解を深め、ビジネスに繋げる視点を加味したクリエーション能力の育成を目指す。

〔「ファッションウィーク福岡」実習〕

○9月：専門家を招聘した特別授業（3年生）

○11月～2月：ステージ発表（ファッションショー）の企画・提案（3年生）

○3月：ステージ発表の運営（1,2年生）

関係科目：「ファッション造形」「ファッションデザイン」「服飾手芸」

協力機関：エスマード（専門家の派遣）

福岡アジアファッション拠点推進会議（「ファッションウィーク福岡」主催者）

実施場所：本校、福岡市天神地区他

設備・機器：3DCAD、プリンター、プロジェクター

〔オリジナルファッションショー実習〕 ※28年度の取組を踏まえ、配列を組み替えて実施。

○5月：パーソナルカラー、ウォーキングの特別授業（3年生）

○6月：ファッションショー（本校文化祭）（全学年）

○10月：ファッションショー（博多秋祭り）（3年生）

○10月：ファッションショー（近隣ショッピングセンター）（3年生）

○10月：3DデータCADによる製作について特別授業（1,2年生）

○2月：ファッションショー（博多阪急）（3年生）

○2月：ウォーキングの特別授業（1,2年生）

○3月：色彩の特別授業（1年生）

関係科目：「ファッション造形」「ファッションデザイン」「服飾手芸」「生活産業情報」

協力機関：香蘭女子短期大学（専門家の派遣）

博多阪急、株式会社イオン、博多部まちづくり協議会

実施場所：本校、博多阪急百貨店、イオンモール香椎浜、承天寺

設備・機器：3DCAD、プリンター、プロジェクター

〔「福岡アジアコレクション」実習〕

○1月：アジアコレクションに出品するトップデザイナーを招聘した特別事業（全学年）

○3月：国際ファッションイベント（福岡アジアコレクション）の運営業務体験（1,2年生）

関係科目：「ファッション造形基礎」「ファッション造形」「ファッションデザイン」

「生活産業基礎」「生活産業情報」

協力機関：福岡アジアファッション拠点推進会議（「福岡アジアコレクション」主催者）

実施場所：本校、福岡国際センター

設備・機器：3DCAD、プリンター、プロジェクター

〔商品企画実習〕

○9月：ファッションメーカーにおける商品開発及び販売に関する特別授業（2年生）

関係科目：「ファッション造形」「ファッションデザイン」「服飾手芸」「生活産業情報」

協力機関：(株) ウンディッチ・ノーベ (特別授業の実施)

実施場所：同上 (福岡市)

[職業理解推進研修] ※28年度の取組を踏まえ、独自のプログラムを開発して実施。

○7月：リーダー候補生徒10名を選考し、企業見学等に派遣 (1,2年生)

関係科目：「ファッション造形基礎」「ファッション造形」「ファッションデザイン」
「服飾文化」「服飾手芸」「生活産業基礎」「生活産業情報」

協力機関：(株) マキシン、宝塚歌劇団、神戸グランドアンカー、エスモード京都校

実施場所：同上 (兵庫県)

イ【世界のファッション文化を学ぶ海外研修】

(目標) 我が国固有の美の文化や英語に関する学習の成果を基盤として、現代のファッション界において高いブランド力を有する欧米のファッション文化に直に触れる学習活動を実施し、日本では感じる事ができない世界水準の最先端ファッション文化について理解を深め、革新性の高い創作活動につながる感性や能力の育成を目指す。

[カナダ研修]

○1月：(2年生)

「ジョージブラウンカレッジでの学習・交流活動」

職業に直結する多様なキャリアプログラムを重点とした教育を提供している大学を訪問し、デザインやマーケティング等に関する特別講義や、在籍する各国の学生との意見交換会を実施。

「トロント・ファッション・インキュベータでの学習・交流活動」

ファッション業界の起業家、若手を育成する役割を担う非営利団体を訪問し、商品開発や販売に関する特別講義や実習、若手デザイナーや起業家など関係者との交流会を実施。

「作品発表に向けた素材の調達」

上記の学習の成果を活かし、プログラム終了後に本校で実施する発表会やファッションショー等で発表する作品の素材(生地ほか)調達を、東京都日暮里繊維街で行う。

関係科目：「ファッション造形」「ファッションデザイン」「服飾手芸」「服飾文化」

協力機関：ジョージブラウンカレッジ(特別講義の実施、会場等の提供)、トロント・ファッション・インキュベータ(特別講義の実施、会場等の提供)

実施場所：カナダ・トロント 各会場

[世界のファッション文化学習会]

○11月：カナダ研修の事前指導として、ファッションの専門家による特別授業(2年生)

関係科目：「ファッション造形」「ファッションデザイン」「服飾手芸」「服飾文化」

協力機関：文化服装学院(専門家の派遣)

実施場所：本校

設備・機器：プロジェクター

ウ【郷土の一級品に触れる実習・体験活動】※28年度の取組を踏まえ、配列を組み替えて実施。
(目標)福岡はもとより九州が誇る郷土の多種多様な伝統工芸や地場産業に直に触れる実習や体験活動を実施し、それらの背景となる考え方や価値観等について理解を深め、多様な「美」の文化を柔軟に受け入れる能力の育成を目指す。

〔日本文化学習〕

- 10月：日本の美の文化やアジアとの交流史等に関する特別授業（2年生）
関係科目：「服飾文化」
協力機関：九州国立博物館（特別授業の実施）
実施場所：同上（太宰府市）

〔博多織実習〕

- 6月：博多織工房見学との継ぎ体験（1年生）
関係科目：「生活産業基礎」
協力機関：OKANO本社工房（特別授業の実施）
実施場所：同上（筑紫郡那珂川町）
- 11月：博多織に関する特別授業（2年生）
関係科目：「服飾手芸」
協力機関：博多織工業組合（特別授業の実施）
実施場所：本校

〔和装コーディネート実習〕

- 12月：和装コーディネート等に関する特別授業（1年生）
関係科目：「生活産業基礎」「ファッションデザイン」
協力機関：博多呉服商組合「呉服のたかはし」（特別授業の実施）
実施場所：同上（福岡市）

〔色絵磁器創作実習〕

- 11月：「色鍋島今右衛門」の美に関する特別授業（1年生）
関係科目：「ファッションデザイン」
協力機関：色鍋島今右衛門（特別授業の実施）
実施場所：同上（佐賀県有田町）

〔久留米絣 染めと織りの体験〕

- 6月：久留米絣に関する特別授業（1年生）
関係科目：「生活産業基礎」
協力機関：久留米絣織元「森山絣工房」（特別授業の実施）
実施場所：同上（福岡県広川町）

エ【English for fashion students】

(目標) 大学・短期大学等と連携して「ファッション英語」のカリキュラム開発及び授業研究に取り組み、実践的な英語力向上のための授業を体系的に実施する（「業界でよく使う英単語 100 選」の習得等）。あわせて、イングリッシュキャンプでの交流等を実施し、ファッションに関する英語を理解し、英語でアウトプットすることができる能力の育成を目指す。

[ファッション英語]

○4月～3月：1、2 学年の指導カリキュラム及び教材の開発（1、2 年生）

○7月：英語教育の専門家を招聘した研究授業（1、2 年生）

○12月：英語教育の専門家を招聘した研究授業（1、2 年生）

○2月：英語教育の専門家を招聘した研究授業（1、2 年生）

関係科目：「英語表現Ⅰ」「コミュニケーション英語Ⅰ」「コミュニケーション英語Ⅱ」

協力機関：西南女学院大学（専門家の派遣）

実施場所：本校

設備・機器：プロジェクター

[ファッション版イングリッシュキャンプ] ※28 年度の取組を踏まえ、配列を組み替えて実施。

○7月：ファッションデザインに関するプレゼンテーションやネイティブスピーカー等との交流等（3 年生）

○10月：ファッションデザインに関するプレゼンテーションやネイティブスピーカー等との交流等（2 年生）

○2月：ファッションデザインに関するプレゼンテーションやネイティブスピーカー等との交流等（1 年生）

関係科目：「英語表現Ⅰ」「コミュニケーション英語Ⅰ」「コミュニケーション英語Ⅱ」「コミュニケーション英語Ⅲ」

協力機関：なみきスクエア（会場の提供）

実施場所：同上（福岡市）、3 年生は本校

設備・機器：プロジェクター

(2) 評価方法

ア 定性的な評価

それぞれの事業で設定した目標に対して、当研究により生徒がどのように成長したかを評価する観点（評価項目）とその評価基準の設定について、有識者の助言を得て段階的に研究を継続して進めるとともに、28 年度に試行したループリックを踏まえ、評価対象を衣装製作やファッションショーの企画などの学習へ応用するなど、客観的な評価方法の確立を図る。

また、生徒による自己評価（満足度・達成感）、協力機関の専門家による生徒評価、担当教諭による行動観察などを継続して実施するとともに、明確な進路目標の形成過程において、生徒の「気づき」が各事業を通じてどのように発展していくのかを明らかにするため、ポートフォリオの手法を用いた活動記録の分析等に取り組む。

イ 定量的な評価

ファッション産業で活躍できる資質を身に付けたかどうかの指標として、ファッションに関する高度資格の取得率を指標とする。具体的には、色彩検定（文部科学省後援）1級、ファッション販売能力検定（日本ファッション教育振興会）2級の取得率70%を目指す。

また、【English for fashion students】においては、パフォーマンステストによる継続的な評価を行うとともに、卒業までに英検準2級程度以上の資格取得を指標とする。

さらに、目標に対する効果測定としての最適な指標の在り方について研究に取り組む。

5. 実施体制

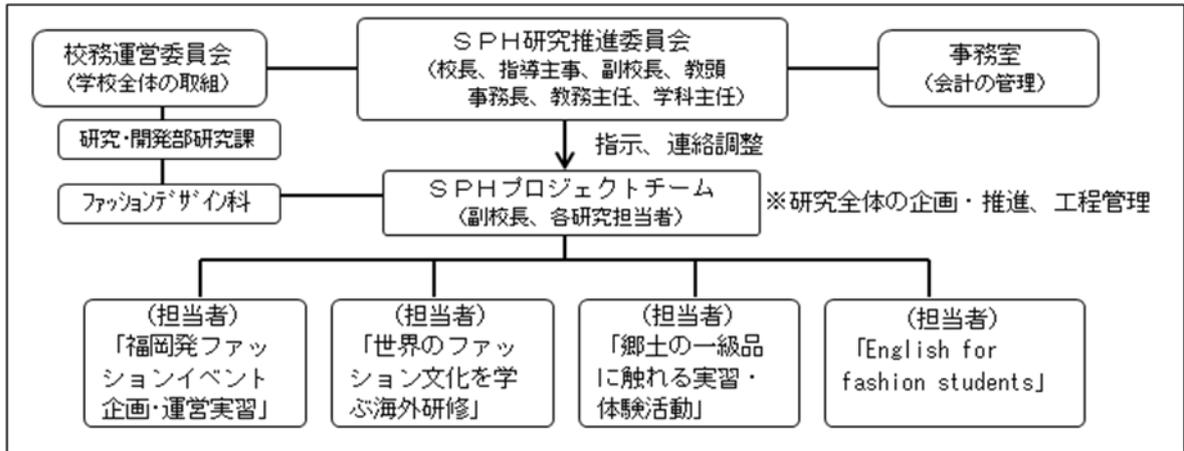
(1) 研究担当者

氏名	職名	役割分担・担当教科
松尾 勝之	主幹教諭	全体総務・教育課程・数学
西島 美加	教諭	総務・外部協力機関・家庭(学科主任)
玉田 美香子	教諭	「English for fashion students」担当・英語
福原 操織	教諭	「郷土の一級品に触れる実習・体験活動」担当・家庭
高橋 朱奈	講師	「郷土の一級品に触れる実習・体験活動」担当・家庭
西嶋 祐子	教諭	「世界のファッション文化を学ぶ海外研修」担当・家庭
下山 清美	教諭	「福岡発ファッションイベント企画・運営実習」担当・家庭
山口 詩織	講師	「郷土の一級品に触れる実習・体験活動」担当・家庭
上田 玲華	実習助手	「福岡発ファッションイベント企画・運営実習」担当・家庭 広報(ホームページ)
檜崎 美紀子	教諭	評価法等研究開発・家庭 (福岡教育大学教職大学院にて長期派遣研修中)

(2) 研究推進委員会

氏名	所属・職名	役割・専門分野等
田中 眞太郎	香椎高等学校・校長	研究の管理運営
石田 亮子	教育庁高校教育課指導主事	研究の助言及び評価
矢ヶ崎 裕和	香椎高等学校・副校長	研究の企画及び運営
松尾 祥子	香椎高等学校・教頭	研究の推進及び工程管理・校務全般
田原 玲子	香椎高等学校・事務長	研究の会計管理
松尾 勝之	香椎高等学校・主幹教諭	研究の推進及び工程管理・教務全般
西島 美加	香椎高等学校・教諭	研究の推進及び工程管理・家庭科

3) 校内における体制図



6. 研究内容別実施時期

研究内容	実施時期											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
○「ファッションウィーク福岡」実習			特別授業						企画・提案			運営
○オリジナルファッションショー実習		特別授業	ファッションショー				特別授業	ファッションショー		ファッションショー		特別授業
○「福岡アジアコレクション」実習										特別授業		実習
○商品企画実習						特別授業						
○職業理解推進研修				研修								
○カナダ研修										研修		
○世界のファッション文化学習会								特別授業				
○日本文化学習							特別授業					
○博多織実習			特別授業					特別授業				
○和装コーディネート実習									特別授業			
○色絵磁器創作実習								特別授業				
○久留米絣 染めと織りの体験			特別授業									
○ファッション英語	指導カリキュラム及び教材の開発											
			研究授業						研究授業		研究授業	
○ファッション版イングリッシュキャンプ			イングリッシュキャンプ			イングリッシュキャンプ					イングリッシュキャンプ	

※実施時期は、事業計画書提出時のものであり、実際の事業着手は契約締結後とする。

7. この事業に関連して補助金等を受けた実績

補助金等の名称	交付者	交付額	交付年度	業務項目

8. 知的財産権の帰属

※ いずれかに○を付すこと。なお、1. を選択する場合、契約締結時に所定様式の提出が必要となるので留意のこと。

() 1. 知的財産権は受託者に帰属することを希望する。

(○) 2. 知的財産権は全て文部科学省に譲渡する。

9. 再委託に関する事項

再委託業務の有無 有・**無**

※有の場合、別紙3に詳細を記載のこと。

II 委託事業経費 別紙1に記載

III 事業連絡窓口等 別紙2に記載